

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）

名称	函館山からの眺望（函館山ロープウェイ）
特に関わりのあるSDGs（持続可能な開発目標）	   
URL	<a href="https://334.co.jp/">https://334.co.jp/</a>
内容	世界一とも称される函館山からの夜景は、『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』改定第2版に3つ星として掲載されています。「まちの光」と「海の闇」のコントラストが夜景をメリハリのあるものに演出しています。
参加可能人数	ゴンドラ：125人乗り 通常15分毎、混雑時は5～10分毎に運転
料金	普通運賃往復：大人（中学生以上）1,800円、小人900円 修学旅行往復：高校生1,000円、中学生900円、小学生600円 ※片道運賃あり ※修学旅行に同伴の教師・写真業者は無料
実施日・実施期間	通年 ※荒天時は運転見合わせ、秋に法定検査で運休期間あり
営業時間	10:00～22:00（4月20日～9月30日） 10:00～21:00（10月1日～4月19日） ※営業時間については、ホームページでもご確認下さい。
所要時間	約30分～1時間程度
場所	函館市元町19-7
交通案内	函館空港より車で約30分、JR函館駅より車で約10分、市電「十字街」より徒歩約10分
ガイド	無
体験メニュー	無
大型バス駐車	可（無料あり、山頂駐車場 20台、山麓観光駐車場 15台）
外国人対応	HP：英語版、中国語（繁体字・簡体字）版、タイ語版、韓国語版あり
予約（申込）方法	※FAXにて事前予約をお願いします。
問い合わせ先	函館山ロープウェイ TEL：0138-23-6288
セールスポイント	125人乗りの大型ゴンドラで334メートルの函館山山頂まで約3分。左右を海に挟まれた扇型に広がるシルエットが一望でき、その特徴的な眺望は、世界的にも高い評価を獲得しています。（ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン改訂第2版にて三ツ星。）季節や時間帯によって違う景色が楽しめるほか、山麓には、日本初のコミュニティ放送局「FMいるか」があり、オープンスタジオから毎日放送を行っています。山頂には、美しい景色を眺めながら楽しめるレストラン、オリジナルグッズ等を販売しているショップもあります。
写真	  

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>○函館山の歴史について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・特徴，歴史，地形，函館山の動植物などについて事前学習を行う。</li><li>・ロープウェイについて</li><li>・トーマスブラキストン，伊能忠敬などゆかりの人物について学ぶ。</li></ul>		
現地での学び・体験	<p>○函館山の自然，歴史に触れる</p> <p>○地元ガイドとのふれあい</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・函館山周辺（元町）を散策しながら説明を受け，函館を体感する。</li></ul>		
事後学習・まとめ	<p>○函館山の魅力について考える</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・函館山の自然や歴史から魅力について考える。</li></ul>		

※ 記載の内容は，令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）







名称	函館市縄文文化交流センター
特に関わりのあるSDGs (持続可能な開発目標)	   
URL	<a href="http://www.hjcc.jp/">http://www.hjcc.jp/</a>
内容	<p>●函館市縄文文化交流センターの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国宝の「土偶」を見ることができる、縄文に特化した博物館です。</li> <li>・函館市内から出土した縄文時代の貴重な出土品約1,500点が展示されています。</li> <li>・いつでもできる体験メニューが複数用意されています。</li> <li>・道の駅「縄文ロマン南かやべ」を併設しており、国内唯一の国宝のある道の駅でもあります。</li> </ul>
参加可能人数	個人：1人～，団体：20人～（最大人数は要相談）
料金	個人：一般300円，学生・生徒・児童150円 団体：一般240円，学生・生徒・児童120円（団体は20名以上）
実施日・実施期間	通年 ※毎週月曜（祝翌日），毎月最終金曜，年末年始（12月29日～1月3日）は休館
営業時間	9：00～17：00（4～10月），9：00～16：30（11～3月）
所要時間	30分～60分
場所	函館市白尻町551-1
交通案内	函館空港より車で約40分，JR函館駅より車で約60分，函館バス川汲経由鹿部行き「垣ノ島遺跡下」より徒歩約7分
ガイド	館内の解説ガイド 所要時間：30～60分，料金：無料，対応人数：1～30人（団体の場合，要事前相談）
体験メニュー	組紐アクセサリ，縄文ペンダント等 所要時間：20分～90分，料金：50円～650円，対応人数：1人～22人
大型バス駐車	可（無料，4台）※垣ノ島遺跡と共用
外国人対応	HP：英語版あり 館内看板：一部で英語表記あり
予約（申込）方法	電話，FAX，電子メールなど
問い合わせ先	TEL：0138-25-2030 FAX：0138-25-2033
セールスポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●館内のガイドは，随時対応できます（要事前相談）。</li> <li>●国宝の「土偶」を様々な角度から観察することができます。</li> <li>●体験メニューを通じて，縄文を楽しみながら学ぶことができます。</li> <li>●垣ノ島遺跡・大船遺跡・函館市縄文文化交流センターの解説ガイド付き見学と体験学習プログラムによるローテーションプランのご提案も可能です。</li> </ul>
写真	   

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"><li>○ “縄文” について学ぶ<ul style="list-style-type: none"><li>・ 縄文時代とは、どのような時代だったか。</li><li>・ 縄文遺跡からは、どのようなものが見つかるか。</li><li>・ 函館市には、どのような遺跡があるか。</li></ul></li></ul>		
現地での学び・体験	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 出土品を間近に見学し，“縄文” を感じる<ul style="list-style-type: none"><li>・ ガイドを聞き，縄文時代について詳しく学ぶ。</li><li>・ 様々な出土品から，当時の生活や精神を知る。</li><li>・ 体験メニューを通し，当時の技術や知恵を感じ取る。</li></ul></li></ul>		
事後学習・まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>○ “縄文” の視点から考える<ul style="list-style-type: none"><li>・ 縄文時代と現代との違いや共通点を考える。</li><li>・ 縄文時代が1万年以上続いた理由を考える。</li><li>・ 縄文体験を通じて，現代社会に生きる私たちの生活について考える。</li></ul></li></ul>		

※ 記載の内容は，令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）








名称	史跡 垣ノ島遺跡
特に関わりのあるSDGs (持続可能な開発目標)	   
URL	<a href="http://www.hjcc.jp/">http://www.hjcc.jp/</a> (函館市縄文文化交流センター)
内容	<p>●垣ノ島遺跡（およそ9,000年前～3,000年前）の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産です。</li> <li>・6,000年間という長期にわたり、縄文人が暮らした集落跡です。</li> <li>・竪穴建物のある居住域(日常)と、墓域(非日常)が分かれた定住開始期の遺跡です。</li> <li>・国内最大級の盛り土遺構のスケールを、実際に目で見て確認できます。</li> </ul>
参加可能人数	個人：1人～（団体の場合は要事前相談）
料金	無料
実施日・実施期間	通年 ※年末年始（12月29日～1月3日）は休場
営業時間	9：00～17：00（4～10月）、9：00～16：00（11～3月）
所要時間	20分～120分
場所	函館市臼尻町551-1（駐車場）※縄文文化交流センターと共用
交通案内	函館空港より車で約40分、JR函館駅より車で約60分、 函館バス川汲経由鹿部行き「垣ノ島遺跡下」より徒歩約7-5分
ガイド	遺跡の解説ガイド（4～10月は定時解説を実施：10時、13時、15時） 所要時間：約45分、料金：無料、対応人数：1～30人（団体の場合、要事前相談）
体験メニュー	発掘体験（4～10月、11時、14時） 所要時間：約40分、料金：無料、対応人数：1～20人（団体の場合、要事前相談）
大型バス駐車	可（無料、4台）※縄文文化交流センターと共用
外国人対応	HP：英語版あり 現地看板：英語表記あり デジタルコンテンツ：英、中(繁体・簡体)、韓に対応（テキストおよび音声ガイド）
予約（申込）方法	電話、FAX、電子メールなど
問い合わせ先	函館市縄文文化交流センター TEL：0138-25-2030 FAX：0138-25-2033
セールスポイント	<p>●遺跡のガイドや、本物の土器や石器を掘り出す発掘体験は、4～10月の期間中は毎日行っているほか、随時でも対応できます（要事前相談）。</p> <p>●令和5年度からは、新たにデジタルコンテンツを導入し、ARやVRなどにより縄文人の暮らしや発掘調査の様子を、タブレットやスマートフォンを通し、体験することができます（タブレット無料貸出あり）。</p> <p>●垣ノ島遺跡・大船遺跡・函館市縄文文化交流センターの解説ガイド付き見学と体験学習プログラムによるローテーションプランのご提案も可能です。</p>
写真	  

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"><li>○ “縄文” について学ぶ<ul style="list-style-type: none"><li>・ 縄文時代とは、どのような時代だったか。</li><li>・ 縄文遺跡からは、どのようなものが見つかるか。</li><li>・ 函館市には、どのような遺跡があるか。</li></ul></li></ul>		
現地での学び・体験	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 実際に遺跡に立って，“縄文” を感じる<ul style="list-style-type: none"><li>・ ガイドを聞き，垣ノ島遺跡について詳しく学ぶ。</li><li>・ 発掘体験により，土器や石器に触れるとともに調査の方法を知る。</li><li>・ デジタルコンテンツを通し，当時の生活をイメージする。</li></ul></li></ul>		
事後学習・まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>○ “縄文” の視点から考える<ul style="list-style-type: none"><li>・ 縄文時代と現代との違いや共通点を考える。</li><li>・ 縄文時代が1万年以上続いた理由を考える。</li><li>・ 縄文体験を通じて，現代社会に生きる私たちの生活について考える。</li></ul></li></ul>		

※ 記載の内容は，令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）

名 称	史跡 大船遺跡
特に関わりのある SDGs (持続可能な開発目標)	   
U R L	<a href="http://www.hjcc.jp/">http://www.hjcc.jp/</a> (函館市縄文文化交流センター)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大船遺跡（およそ5,500年前～4,000年前）の特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産です。</li> <li>・縄文時代の家である竪穴建物跡が、100軒以上見つかった集落跡です。</li> <li>・一つひとつの竪穴建物の規模が大きく、深く掘られています。</li> <li>・縄文人が食べた魚や動物の骨なども数多く見つかっています。</li> </ul> </li> </ul>
参加可能人数	個人：1人～（団体の場合は要事前相談）
料 金	無料
実施日・実施期間	通年 ※年末年始（12月29日～1月3日）は休場
営 業 時 間	9：00～17：00（4～10月）、9：00～16：00（11～3月）
所 要 時 間	20分～60分
場 所	函館市大船町577-1（駐車場）
交 通 案 内	函館空港より車で約50分、JR函館駅より車で約70分、 函館バス川汲経由鹿部行き「大船遺跡下」より徒歩約10分
ガ イ ド	遺跡の解説ガイド（4～10月は定時解説を実施：10時、13時） 所要時間：約30分、料金：無料、対応人数：1～30人（団体の場合、要事前相談）
体 験 メ ニ ュ ー	なし
大 型 バ ス 駐 車	可（無料、3台）
外 国 人 対 応	HP：英語版あり 現地看板：英語表記あり
予 約（申 込）方 法	電話、FAX、電子メールなど
問 い 合 わ せ 先	函館市縄文文化交流センター TEL：0138-25-2030 FAX：0138-25-2033
セ ー ル ス ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遺跡のガイドは、4～10月の期間中は毎日行っているほか、随時でも対応できます（要事前相談）。</li> <li>●竪穴建物の形成過程を示す、発掘調査で見つかった穴の状態や、骨組、屋根を葺いた完全復元など、様々な状態の竪穴建物を見学することができます。</li> <li>●クリやクルミなどの在来種を保護・植樹した「縄文の森」エリアは、自然観察の場として利用できます。</li> <li>●垣ノ島遺跡・大船遺跡・函館市縄文文化交流センターの解説ガイド付き見学と体験学習プログラムによるローテーションプランのご提案も可能です。</li> </ul>
写 真	  

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"><li>○ “縄文” について学ぶ</li><li>・ 縄文時代とは、どのような時代だったか。</li><li>・ 縄文遺跡からは、どのようなものが見つかるか。</li><li>・ 函館市には、どのような遺跡があるか。</li></ul>		
現地での学び・体験	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 実際に遺跡に立って、“縄文” を感じる</li><li>・ ガイドを聞き、大船遺跡について詳しく学ぶ。</li><li>・ 竪穴建物を観察し、当時の家の構造や暮らしの様子を知る。</li><li>・ 縄文から続く豊かな自然を実感する。</li></ul>		
事後学習・まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>○ “縄文” の視点から考える</li><li>・ 縄文時代と現代との違いや共通点を考える。</li><li>・ 縄文時代が1万年以上続いた理由を考える。</li><li>・ 縄文体験を通じて、現代社会に生きる私たちの生活について考える。</li></ul>		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）

名称	箱館奉行所
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	 
URL	<a href="https://www.hakodate-bugyosho.jp">https://www.hakodate-bugyosho.jp</a>
内容	幕末の箱館開港に伴い築造された西洋式城塞・五稜郭内に建てられた江戸幕府の役所。明治4年（1871年）の解体から約140年の時を超えて平成22年（2010年）に、古写真や発掘調査を基に可能な限り当時と同じ材料・工法により復元されました。
参加可能人数	団体：説明有の場合一度に最大約30人 説明無の場合は制限なし，個人：制限なし
料金	個人：一般500円，学生・生徒・児童250円（大学生は学生証要提示） 団体：一般400円，学生・生徒・児童200円（団体は20名以上/学校活動の場合は少人数の場合も団体料金適用）
実施日・実施期間	12月31日～1月1日は休館、ほか臨時休館あり
営業時間	9：00～18：00（4月～10月），9：00～17：00（11月～3月）， 9：00～15：00（1/2～3お正月特別開館）最終入館は閉館時刻の15分前
所要時間	平均 約20～30分程度
場所	函館市五稜郭町44-3
交通案内	函館空港より車で約20分，JR函館駅より車で約15分， 市電「五稜郭公園前」より徒歩約18分
ガイド	内容：五稜郭・箱館奉行所の歴史および復元建物について，所要時間：約8～10分， 料金：無料，対応人数：一度に最大約30人
体験メニュー	内容：「箱館奉行所クイズ」を解きながら見学していただくことができます。 所要時間：10～20分，料金：無料，対応人数：団体の場合 一度に入館可能な約30名
大型バス駐車	可（近隣大型バス駐車場（五稜郭タワー・有料）をご利用願います。）
外国人対応	HP：英語版あり リーフレット：英語・繁体字・簡体字・韓国語・タイ語あり 展示キャプション：英語あり 音声ガイド：英語・中国語・韓国語
予約（申込）方法	団体で入館を希望される場合は，当館HPの「団体入館者申込書」により，できるだけ事前の申し込みをお願いいたします。
問い合わせ先	TEL：0138-51-2864 FAX：0138-51-2548
セールスポイント	古写真・文献資料などの展示。ガイド案内も行っております。
写真	  

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	五稜郭と箱館奉行所について自分なりに調べてみることにより、幕末の日本の歴史に触れることができる。		
現地での学び・体験	五稜郭・箱館奉行所の役割や歴史、世界の五稜郭について他、書院造など日本の伝統的建築についても知ることができる。		
事後学習・まとめ	幕末のペリー来航時から大政奉還・明治維新・戊辰戦争までの日本の歴史の流れにおける五稜郭・箱館奉行所について俯瞰的視点から考えられるようになる。		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設・体験）

名称	はこだてみらい館
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	  
URL	hakodate-miraikids.jp
内容	教育旅行・校外学習向け体験プログラムを多数ご用意しております。当館は、先進的な技術等を活用し、様々なコンテンツを通して大人も子供も楽しく「みらい」が体感できる屋内型施設です。
参加可能人数	団体：制限なし（人数が50名を超える場合は事前にご相談ください） *体験メニューの受講をご希望される場合は、事前にご相談ください。
料金	個人：300円，団体：240円（団体は20名以上）
実施日・実施期間	開館：通年 ※休館日：年末年始（12月31日～1月1日），館内整理日（毎月第2水曜日，8月・1月は第4水曜日）※休館日は変更になる場合がありますので事前にご確認ください
営業時間	10：00～20：00（最終入館は19：30まで）
所要時間	30分，60分，90分，120分 ご希望に応じて体験メニューの時間調整は可能です。事前にお問合せください。
場所	北海道函館市若松町20-1 キラリス函館3階
交通案内	函館空港よりシャトルバスで約20分，JR函館駅より徒歩約3分，市電「函館駅前」より徒歩約1分
ガイド	館内案内：所要時間：10～30分，料金：無料，対応人数：～40名 (所要時間・対応人数のご相談を承ります。事前にお問合せください。)
体験メニュー	<p>教育旅行・校外学習向け体験プログラム</p> <p>詳細については、みらい館 HP をご確認くださいとしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ロボットプログラミング体験/使用教材KOOV 組立例によってブロック・電子パーツでロボットを制作します。 ビジュアルプログラミングによってコマンドブロックを組合せ、命令を作り、制作したロボットを動作させることができます。</li> <li>●ドローン体験/プログラミングコース/使用教材Tello ビジュアルプログラミングを用いてドローンを自動で飛行させます。 離発着や移動を直感的にプログラミング可能。初心者でも簡単に操作できます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各体験コース所要時間：30分～120分 (体験人数に応じて体験時間のご相談を承ります。事前にお問合せください。)</li> <li>・対応人数：5～40名/回 (体験内容に応じて体験人数のご相談を承ります。事前にお問合せください。)</li> <li>・料金：無料</li> </ul>

	<p>・ KOOV, T e l l o 以外にも M E S H, t o i o など, ロボットプログラミングやビジュアルプログラミング等を用いたオリジナルの体験プログラムについてのご相談を承ります。</p> <p>●ものづくり体験 (3Dプリンター体験, レーザーカッター体験)</p> <p>ご希望の場合は事前にご相談ください。別途材料費をいただく場合もございますので, あらかじめご了承ください。</p>
大型バス駐車	無
外国人対応	言語翻訳機(1台)
予約(申込)方法	<p>学校・教育団体の皆様や20名様以上の団体の方々は, はこだてみらい館HPから「施設利用申込書」をダウンロードし, 必要事項を記入したうえでFAXにてお申し込みください。</p>
問い合わせ先	TEL: 0138-26-6000 FAX: 0138-26-7011
セールスポイント	<p>教育旅行・校外学習向け体験プログラムや映像の先端技術体験のほか, ハンズオン型によるものづくり体験が可能な施設です。</p> <p>【映像の先端技術など】</p> <p>・メディアウォールやインタラクティブミラー, デジタル水族館, 空間再現ディスプレイ (SRD: Spatial Reality Display), 360スタジオ, 想像の廊下, すくすくスケール, SPHERE, a i b o, 「こびとが住まうキャンパス」等, 新しい技術を取り入れたコンテンツを館内でいつでも体験することができます。</p>
写真	

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 函館について調べる               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 函館の名物はどのようなものがあるか</li> <li>・ 函館にはどのような建物や遺跡があるか</li> <li>・ はこだてみらい館では、どのような体験ができるか</li> </ul> </li> <li>● (体験メニュー受講の場合) 体験するメニューについて理解を深める               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロボットプログラミング体験, ドローン体験/共通事項 ビジュアルプログラミング (Scratch 等) を体験する, ロボットに使われているセンサーやモーターなどの装置について調べる</li> <li>・ レーザーカッター体験 (アクリルキーホルダー) 彫刻したいイラストを専用用紙に記入する (コルクコースター) 彫刻したいイラストを考える</li> </ul> </li> </ul>		
現地での学び・体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育旅行・課外学習向け体験プログラム               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロボットプログラミング体験/使用教材 K O O V</li> <li>・ ドローン体験/プログラミングコース/使用教材 T e l l o</li> <li>・ ものづくり体験 (3Dプリンター体験, レーザーカッター体験) など</li> </ul> </li> <li>● 常設コンテンツ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巨大高精細 LED ディスプレイ「メディアウォール」 幅 14.5メートル×高さ 2.5メートルの国内最大級の高精細な LED ディスプレイでは、毎時間 5 種類以上のコンテンツが上映されます。函館市内の素晴らしい景色を天候に左右されずご覧いただけるほか、世界で幅広く使用されているゲームエンジン「Unity」で制作し、センサーも組み入れた体感型ゲーム、動物や魚たちが実際の大きさとスピードで動く体験コンテンツ、函館の様々な景色やものの映像とリアルタイムで組み合わせ、多人数で変わった記念写真が撮影できるコンテンツなどをご用意しています。</li> <li>・ 360スタジオ 360度映像とマルチチャンネルサラウンドで非日常体験ができる円形スタジオ。函館市内の主要な観光スポットを普段見ることができないドローンからの視点で楽しむことができるほか、世界遺産に登録された南茅部縄文遺跡群の発掘をバーチャルで体験できます。</li> <li>・ 空間再現ディスプレイ「SRD (Spatial Reality Display)」 3DCGで再現した南茅部縄文遺跡群から発掘された遺物が、まるでそこに存在するかのようなリアルで鮮やかな立体視体験ができます。</li> </ul> </li> <li>● その他のコンテンツもホームページでご案内していますのでご覧ください。</li> </ul>		

事後学習・まとめ

当館は、デジタルコンテンツと遊びが融合し、子どもの創造力を育む体験型科学施設です。

●当館での体験を振り返る

体験プログラムや常設コンテンツに触れ、どのようなことを感じたか、児童・生徒同士で意見交流しながら振り返る。

●（体験メニュー受講の場合）体験した講座について、日常との関連性を考える

- ・プログラミングされ動いているものは、身の周りにどのようなものがあるかを考える
- ・レーザーカッターや3Dプリンター等を用いて制作したものが、身の周りにあるか、どのように利用されているか調べる

※ 記載の内容は、令和8（2026）年4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）




名 称	函館市旧イギリス領事館
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	 
U R L	<a href="https://www.fbcoh.net/">https://www.fbcoh.net/</a>
内 容	現在の建物は、大正2年（1913年）に竣工し、昭和9年（1934年）に閉鎖されるまで領事館として使用されてきました。平成4年（1992年）に改装し、開港記念館として一般開放されました。開港ミュージアムでは、ペリー来航をきっかけに開港するまでの歴史を体験しながら学ぶことができます。
参加可能人数	団体：約100人、個人：約100人
料 金	個人：一般300円、学生・生徒・児童150円 ※2～4館共通入館券あり
実施日・実施期間	通年 ※12月31日、1月1日は休館
営 業 時 間	9：00～19：00（4月～10月）、9：00～17：00（11月～3月）
所 要 時 間	団体：約30分、個人：約30分
場 所	函館市元町33-14
交 通 案 内	函館空港より車で25分、JR函館駅より徒歩約20分、市電「末広町」より徒歩約5分
ガ イ ド	無
体 験 メ ニ ュ ー	内容：記念撮影、船で波にゆられている気分を楽しむことができます。 いくつかの体験アイテムを楽しむことができます。
大 型 バ ス 駐 車	可（元町バス観光駐車場：無料、14台）
外 国 人 対 応	HP：英語版、中国語版、韓国語版あり
予 約（申 込）方 法	団体：電話予約
問 い 合 わ せ 先	TEL：0138-83-1800
セ ー ル ス ポ イ ン ト	旧イギリス領事館を復元し、当時の領事執務室の再現や家族居室でのイギリスのティータイムの演出や函館開港当時の様子をパネルで紹介しているほか、床一面に描かれている世界地図（鳥瞰図）等を展示しております。また、素敵な家具に囲まれた部屋を会議室等としてご利用できます。
写 真	

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	○ イギリス領事館及び函館開港の歴史について学ぶことができます。		
現地での学び・体験	○ イギリス領事館及び函館開港の歴史について触れることができます。 ・現在に至るまでの「あゆみ」や「疑問」について学ぶことができます。 ・日本で最初の国際貿易港として開港するまでの歴史や文化をいくつかのアイテムを体験しながら楽しく学ぶことができます。		
事後学習・まとめ	○ 函館の西洋文化への変化を学ぶことができます。		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）

名称	函館市北方民族資料館		
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)			
URL	www.zaidan-hakodate.com/hoppominzoku/		
内容	アイヌ民族や北方民族の衣装などをテーマごとに展示しており、国の重要有形民俗文化財に指定されている資料も見ることができます。ガイド案内のほか、ムックリ製作・演奏（最大10名程度）などの体験メニューもございます。		
参加可能人数	団体：約50人，個人：約50人（要相談）		
料金	個人：一般300円，学生・生徒・児童150円 団体：一般240円，学生・生徒・児童120円（20名以上） ※2～4館共通入館券あり		
実施日・実施期間	通年 ※12月31日～1月3日，ほか臨時休館あり		
営業時間	9：00～19：00（4月～10月），9：00～17：00（11月～3月）		
所要時間	30～60分		
場所	函館市末広町21-7		
交通案内	函館空港より車で約25分，JR函館駅から車で約10分，市電「末広町」より徒歩約1分		
ガイド	内容：展示解説，所要時間：60分程度，料金：（入館料），対応人数：15人（要相談）		
体験メニュー	内容：●ムックリ製作・演奏体験 所要時間：90分，料金：1,000円（入館料別途）， 対応人数：小学4年生以上 1～10名程度（要予約） ●切り絵体験 所要時間：15分，料金：100円（中学生以下無料・入館料別途）， 対応人数：1～20名程度		
大型バス駐車	可（元町観光バス駐車場（徒歩3分）：無料，14台）		
外国人対応	HP：英語表記あり，館内英語表示あり，英語表記パンフあり		
予約（申込）方法	団体での入館を希望される場合は，HPよりダウンロードした「団体入館申込書」をご提出願います。（メール・FAX可，できるだけ事前の申し込みをお願いします。）		
問い合わせ先	TEL：0138-22-4128 FAX：0138-22-8874		
セールスポイント	国内有数のアイヌ資料が収蔵展示されています。		

写

真



### 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>○アイヌ民族や北方民族の文化について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ民族や、ウイльта民族・アリュート民族などの北方民族の文化について事前学習を行う。</li> <li>・アイヌ民族には差別されてきた歴史もありますが、漫画や映画を入口として、気軽にアイヌ文化に触れてもらいたい。</li> </ul>		
現地での学び・体験	<p>○アイヌ民族や北方民族の文化に触れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ民族資料等を実際に見学することで、あらゆるものに魂が宿ると考えるアイヌ民族の精神性を、緻密なものづくりから感じとってもらおう。</li> </ul> <p>○ガイドとのふれあい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内スタッフやガイドから説明を受け、当時のアイヌ民族や北方民族の生活観を体感する。</li> </ul>		
事後学習・まとめ	<p>○アイヌ民族や北方民族の人々の視点から自らの生活を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの生活に繋がるものについて考える。</li> <li>・ウポポイを含め、道内各地のアイヌの歴史に興味をもってもらう。</li> </ul>		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）

名称	旧函館区公会堂
特に関わりのあるSDGs（持続可能な開発目標）	  
URL	<a href="https://hakodate-kokaido.jp">https://hakodate-kokaido.jp</a>
内容	明治43年（1910年）に建てられた洋風建築の代表的建物で、気品漂う内部には華やかな雰囲気の家具や調度品を展示しています。昭和49年（1974年）に国の重要文化財に指定されています。
参加可能人数	団体：約20人～最大人数は要相談，個人：1人～
料金	個人：一般300円，学生・生徒・児童150円 ※20名様以上の団体は2割引 ※2～4館共通入館券あり（北方民族資料館，文学館，旧イギリス領事館）
実施日・実施期間	通年 ※年末年始（12月31日～1月3日），館内整理日（随時）は休館
営業時間	4月～10月（火曜日～金曜日）9：00～18：00 /（土曜日～月曜日）9：00～19：00 11月～3月 9：00～17：00 最終入館は閉館時刻の30分前
所要時間	30分～60分
場所	函館市元町11-13
交通案内	函館空港より車で約25分，JR函館駅より車で約10分，市電「末広町」より徒歩約7分，函館バス「公会堂前」より徒歩約3分
ガイド	内容：館内解説ガイド 所要時間：約20分，料金：無料，対応人数：1グループ20人～（要予約）
体験メニュー	貸衣裳（30分大人3，500円，小人2，500円から），AR（拡張現実）
大型バス駐車	可（近隣「函館市元町観光バス駐車場：無料14台」をご利用願います。）
外国人対応	AR（拡張現実）：英語，中国語（簡体字・繁体字），韓国語 リーフレット：英語
予約（申込）方法	団体はHPの「団体入館申込書」をダウンロードし，FAXにて申込受付
問い合わせ先	TEL：0138-22-1001 FAX：0138-86-6480
セールスポイント	旧函館区公会堂の歴史や建物の特徴を解説した充実の館内展示のほか，1階大食堂にあるコーヒー等を楽しめるカフェ（4～12月営業，水曜定休）もおすすです。明治期を思わせるハイカラな衣裳を着用し，館内を周遊・撮影できるほか，2階バルコニーから異国情緒あふれる函館の街並みが一望できます。
写真	  

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>○函館の歴史的な街並みについて学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤レンガ倉庫や教会，洋風建築が建ち並ぶ，異国情緒漂う西部地区の独特なまち並みが形成された理由について考える。</li> <li>・木造をはじめ土造・レンガ造・コンクリート造など様々な種類の建物が建てられた理由について考える。</li> </ul>		
現地での学び・体験	<p>○旧函館区公会堂の建築に触れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・函館の洋風建築を代表する旧函館区公会堂を実際に観ることで，当時の函館の繁栄のようすを体感する。</li> <li>・2度の保存修理工事や耐震補強により，建物を保存していくための技術やその意味を知る。</li> </ul>		
事後学習・まとめ	<p>○建物を通して函館の歴史を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕末の開港以降，西洋文化が流入し国際貿易港として繁栄し，また，たび重なる火災を乗り越えて発展してきた函館のまちの歴史を，建物を通して理解する。</li> <li>・保存修理工事の詳細を知ることによって，文化財保護の大切さを理解する。</li> </ul>		

※ 記載の内容は，令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）

名称	恵山
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	  
URL	<a href="https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014050800075/">https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014050800075/</a>
内容	標高618メートルの恵山は今も噴気をあげる活火山で、標高300メートルの火口原駐車場までは大型バスも登ることができます。恵山山頂まで片道約70分、山頂以外にもハイキングできるコースがあります。5月下旬から高山植物が開花、10月下旬にはサラサドウダンの紅葉が見頃になります。
参加可能人数	特に制限はありません。
料金	無料
実施日・実施期間	通年 ※5月下旬～：ミネズオウ、エゾイソツツジなどが見頃 ※10月下旬：サラサドウダンの紅葉が見頃
営業時間	登山道路（車道）：午前6時～午後6時 12月～4月中旬まで冬期閉鎖
所要時間	火口原散策は徒歩往復約1時間、恵山山頂まで片道徒歩約70分
場所	(函館市恵山地区) 函館市柏野町
交通案内	自動車：函館空港より約45分、JR函館駅より約60分、JR新函館北斗駅より約75分、路線バス：JR函館駅前より恵山登山口まで約1時間50分、恵山登山口より火口原駐車場まで徒歩約60分
ガイド	無
体験メニュー	無
大型バス駐車	可
外国人対応	無
予約（申込）方法	不要
問い合わせ先	函館市恵山支所産業建設課 TEL：(0138)85-2336
セールスポイント	火口原駐車場（標高約300m）から山頂（618m）までの登山は、約70分で到着でき、スニーカーでも可能。目の前に立ち上がる噴気や荒々しい溶岩で火山活動を実感できます。山頂からの眺望は津軽海峡や太平洋、青森県など全方位が見渡せます。
写真	 

**【期待される学習効果】**

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	火山の歴史（成り立ち，噴火の歴史） 火山がもたらす自然（景観，気候，植物など） 火山がもたらす恩恵（鉱山，温泉など）		
現地での学び・体験	登山（またはハイキング） 今なお活動している火山を身近に感じることができる。 海に突き出ている山頂からは全方位の眺望が可能。 南から西方向には津軽海峡や青森県下北半島や津軽半島が見え，北から東方向には室蘭や有珠山，羊蹄山，樽前山などを見ることができます。		
事後学習・まとめ	登山やハイキングを通じて，火山の成り立ちや噴火の歴史，火山がもたらす恩恵や自然景観などについて理解を深めることができる。		

※ 記載の内容は，令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設）

名称	恵山つつじ公園
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	   
URL	<a href="https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2015051800026/">https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2015051800026/</a>
内容	<p>恵山つつじ公園は面積約3.4ヘクタールで活火山恵山の山麓にあります。公園内のエゾヤマツツジはもともと自生していたもので、5月中旬から花が咲き始めます。</p> <p>5月下旬には各種催しも行われるほか、つつじが満開を迎える頃は公園内や隣接する前山斜面が真紅に彩られます。</p>
参加可能人数	特に制限はありません。
料金	無料
実施日・実施期間	<p>通年</p> <p>※つつじの見頃：5月中旬～5月下旬</p>
営業時間	常時開園
所要時間	つつじ公園内：1周約30分
場所	(函館市恵山地区) 函館市柏野町
交通案内	<p>自動車：函館空港より車で約40分，JR函館駅より車で約55分，JR新函館北斗駅より約75分，路線バス：JR函館駅前より恵山登山口まで約1時間50分，恵山登山口より恵山つつじ公園まで徒歩約25分</p>
ガイド	無
体験メニュー	無
大型バス駐車	可（無料，通常2台・つつじまつり開催時は臨時駐車場5台）
外国人対応	無
予約（申込）方法	不要
問い合わせ先	函館市恵山支所産業建設課 TEL：(0138) 85-2336
セールスポイント	<p>恵山つつじ公園のつつじが満開の頃は、つつじの「赤」、新緑の「緑」、津軽海峡の「青」の3色が鮮やかなコントラストを描きます。また、公園内の自生しているつつじは剪定をせず、自然の状態で成長しており、人の背丈よりも大きな木もあります。</p>
写真	 

**【期待される学習効果】**

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	つつじの成長速度について つつじが育つ環境について 全国的な火山とつつじの名所の関係について 他の植物との関係		
現地での学び・体験	つつじの成長速度について（大きさを実感する） つつじが育つ環境について（土壌や気候など） 全国的な火山とつつじの名所の関係について（つつじまつりなど） 他の植物との関係（気候など）		
事後学習・まとめ	つつじの成長速度について（大きさを実感する） つつじが育つ環境について（土壌や気候など） 全国的な火山とつつじの名所の関係について（つつじまつりなど） 他の植物との関係（気候など）		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月末現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設・体験）

名称	函館どつく株式会社 函館造船所					
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)						
URL	<a href="https://www.hakodate-dock.co.jp">https://www.hakodate-dock.co.jp</a>					
内容	函館造船所工場見学					
参加可能人数	1度につき最大40名まで（学校団体に限りませす）					
料金	無料					
実施日・実施期間	平日のみ 8:30 ~ 15:30（5月~10月のみ） ※冬期は受け付けておりません					
営業時間	8:00 ~ 17:00					
所要時間	約90分 ※応相談					
場所	函館造船所 所在地：函館市弁天町20番3号					
交通案内	市電「函館どつく前」より徒歩約5分					
ガイド	社員による引率 ※引率無しでの見学は不可					
体験メニュー	会社の歴史・事業紹介、建造工程説明、工場内見学					
大型バス駐車	可（1台まで）					
外国人対応	受入れには条件があります。下記問い合わせ先へご確認ください。					
予約（申込）方法	当社HP問合せ<その他>よりご連絡ください。					
問い合わせ先	<a href="https://www.hakodate-dock.co.jp/company-info/contact/">https://www.hakodate-dock.co.jp/company-info/contact/</a>					
セールスポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●船の巨大さ、工場の広大さを体感し、造船／修繕の仕事のスケール感を学べます。</li> <li>●船の基本や建造工程について学べます。</li> <li>●タイミングが合えば進水式や引渡し式を見学できます。</li> <li>●北海道・函館から世界へ挑戦し続けている企業です。</li> </ul>					
写真	   					

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"><li>●日本の工業の発展と造船業の関わりについて学ぶ。</li><li>●海運と貿易（輸入、輸出）の重要性を学ぶ。</li><li>●海事クラスターとサプライチェーンを学ぶことによって、日本の産業の幅広さを学ぶ。</li></ul>		
現地での学び・体験	<ul style="list-style-type: none"><li>●船の巨大さを間近に感じ、なぜこれが海に浮くのかという疑問から、物理学の基礎に触れる。</li><li>●巨大な船が全て人の手によって出来上がることを学び、知恵と技能のすばらしさ、日本の技術力の高さを感じることができる。</li><li>●溶接作業や鉄を曲げる作業、クレーン作業を見ることを通じ、働く姿への憧れやモノづくりへの興味を抱き、仕事、社会、大人へのリスペクトを醸成できる。</li></ul>		
事後学習・まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>●造船技術から広がる可能性（洋上風力設備や災害対策など）を考えることによって広い視野を育成することが期待できる。</li><li>●海運という観点から世界情勢を見る力を養える。</li><li>●函館と造船との関連を地理と歴史の観点で捉えることによって、近代史への興味を深めることができる。</li></ul>		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。